

「和経協短観」(2021年4月)調査結果

当協会では会員企業の景況感、従業員の過不足感等をよりの確に把握するため、今年度から四半期毎に景気動向調査「和経協短観」を実施することとしました。

4月に実施した第1回の調査には対象企業の4割以上から回答をいただき、誠にありがとうございました。調査結果は以下の通りです。

なお、第2回の調査は6月1日～15日に実施いたします。

1. 調査要領

(1) 調査対象: 令和3年4月時点の団体を除く会員394社

(2) 調査期間: 令和3年4月15日～27日

(3) 回答状況: 165社(回答率41.9%)

	◆ 回答社数 (社)		
	100人未満	100人以上	全規模
製造業	37	37	74
非製造業	65	26	91
全業種	102	63	165

2. 調査結果概要

- ・ 会員企業の業況判断指数(DI)は、コロナ禍にあっても製造業、非製造業ともプラスだった。3月の日銀短観で中小企業が製造業、非製造業ともDIがマイナスだったことを考えると、会員企業の健闘ぶりが目立つ。ただし、先行きについては慎重な見方が多い。
- ・ 雇用人員の過不足感は、ほぼ日銀短観と同様で、建設業、情報通信業を中心に非製造業で不足感が強くなっている。また、先行きについては、日銀短観では現状と大きな変化が見られないのに対し、人手不足感は現状よりさらに強まるとみている。
- ・ 資金繰りは比較的安定しているとみられ、コロナ対策の緊急融資などの支援策によって支えられている可能性がある。
- ・ 製商品の販売価格について「もちあい」が多数であったのに対し、原材料の仕入価格は「上昇」の傾向が強い。また、先行きについて、販売価格は大きな変化が見られないのに対し、仕入価格は上昇傾向が一層強くなるとみており、価格転嫁出来ないのではないかと懸念がある。

【業況判断】

- 業況判断を「良い」「さほど良くない」「悪い」の選択肢で聞いたところ、製造業で「良い」と答えた企業の割合は27%、「悪い」は8%にとどまった。非製造業では「良い」が32%、「悪い」は20%だった。

「良い」と答えた企業の割合から「悪い」を引いた指数(DI)は製造業で19、非製造業で12だった。

3か月後の先行きについてのDIは製造業が7、非製造業は-1といずれも業況が下降するとみている。

◆業況判断 (単位:%ポイント)

「良い」－「悪い」	最近	先行き
製造業	19	7
非製造業	12	-1
全産業	15	2
100人未満	18	4
100人以上	11	0

《参考》日銀短観(3月)中小企業

「良い」－「悪い」	最近	先行き
製造業	-13	-12
非製造業	-11	-16
全産業	-12	-15

【製商品在庫水準】

- 製商品の在庫状況を聞いたところ、製造業で「過大」と答えた企業の割合は18%、「不足」は7%だった。

「過大」から「不足」を差し引いたDIは11だった。

◆製商品在庫 (単位:%ポイント)

(「過大」－「不足」)

製造業	100人未満	8
	100人以上	14
	全規模	11

【雇用人員】

- 雇用人員については、製造業で「過剰」が16%、「不足」が17%、非製造業では「過剰」が8%、「不足」が33%だった。「過剰」から「不足」を差し引いたDIは製造業が-1、非製造業は-25だった。

3か月後の先行きについてのDIは製造業が-23、非製造業は-32といずれも人手不足感が強まるとみている。

規模別で見ると、現状、先行きとも「100人未満」の企業が「100人以上」よりも人手不足感が強く表れている。

◆雇用 (単位:%ポイント)

「過剰」－「不足」	最近	先行き
製造業	-1	-23
非製造業	-25	-32
全産業	-15	-28
100人未満	-20	-37
100人以上	-6	-13

《参考》日銀短観(3月)中小企業

「過剰」－「不足」	最近	先行き
製造業	-3	-6
非製造業	-22	-26
全産業	-15	-18

【資金繰り】

- ・資金繰りについては製造業で「楽である」と答えた企業の割合は30%、「苦しい」は3%、非製造業では「楽である」が25%、「苦しい」は9%だった。「楽である」から「苦しい」を差し引いたDIは製造業が27、非製造業は16だった。

◆資金繰り (単位:%ポイント)

「楽である」－「苦しい」	
製造業	27
非製造業	16
全産業	21
100人未満	25
100人以上	16

【製商品の販売価格】

- ・製商品の販売価格については、製造業で「上昇」が9%、「下落」が6%、非製造業では「上昇」が12%、「下落」が15%だった。「上昇」から「下落」を差し引いたDIは製造業が3、非製造業は-3だった。3か月後の先行きについてのDIは製造業が7、非製造業は-3だった。

◆販売価格 (単位:%ポイント)

「上昇」－「下落」	最近	先行き
製造業	3	7
非製造業	-3	-3
全産業	-1	1
100人未満	-5	0
100人以上	6	3

【原材料の仕入価格】

- ・原材料の仕入価格については、製造業で「上昇」が43%、「下落」が1%、非製造業では「上昇」が31%、「下落」が5%だった。「上昇」から「下落」を差し引いたDIは製造業が42、非製造業は26だった。3か月後の先行きについてのDIは製造業が48、非製造業は30と原材料価格の上昇が今後も続くとみている。

◆仕入価格 (単位:%ポイント)

「上昇」－「下落」	最近	先行き
製造業	42	48
非製造業	26	30
全産業	34	38
100人未満	42	48
100人以上	38	40